



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月5日

上場会社名 株式会社 T&K TOKA (登記上 株式会社ティーアンドケイ東華) 上場取引所 東  
 コード番号 4636 URL http://www.tk-toka.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 増田 至克  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部本部長 (氏名) 北條 実 (TEL) 03-3963-0511  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 平成26年12月8日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	23,627	△16.6	1,486	△35.6	1,940	△22.5	1,462	3.2
26年3月期第2四半期	28,323	15.2	2,308	28.7	2,502	37.3	1,417	24.5

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 1,284百万円(△63.2%) 26年3月期第2四半期 3,488百万円(160.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	117.25	117.12
26年3月期第2四半期	113.60	113.59

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	54,047	37,886	69.8
26年3月期	52,514	36,210	68.7

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 37,719百万円 26年3月期 36,075百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
27年3月期	—	15.00			
27年3月期(予想)			—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,300	△10.0	3,230	△22.0	4,200	△11.4	2,730	3.1	218.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 1社 (社名) 東華(広州)油墨有限公司

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年3月期2Q	12,506,170株	26年3月期	12,506,170株
27年3月期2Q	29,271株	26年3月期	29,139株
27年3月期2Q	12,476,968株	26年3月期2Q	12,477,272株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(重要な後発事象) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀の各種政策の効果から設備投資の増加、雇用環境の改善などにより景気は緩やかな回復基調が続いております。ただし、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の長期化及び海外景気の下振れ懸念などにより景気の先行きは不透明な状況となっております。一方、アジア地域については、中国では緩やかな拡大傾向が続き、韓国では景気は内需を中心に持ち直しの動きが続くと見込まれますが、ASEAN地域では景気は総じて足踏み状態となっております。

印刷インキの需要先であります印刷業界におきましては、日本市場では、前半は消費税増税前の駆け込み需要の反動減があり、パッケージを中心に印刷需要が減少しました。その後も市場の回復が見られず、またパッケージの需要期である夏場では天候の影響により消費が伸び悩みました。また、モバイル端末等による情報の電子化及び少子化の影響による出版・商業印刷が縮小傾向にあり引き続き厳しい状況が続いております。一方、中国をはじめとしたアジア地域では減速感はあるものの底堅い経済成長に支えられ順調に推移いたしました。また、特殊UVインキの関係する液晶ディスプレイ関連市場は、需要が面積ベースで比較的高い伸びを示し、需給バランスも概ね均衡している状況にあります。

このような経営環境の中で、当社の経営理念でありますT&K (Technology and Kindness=技術と真心) の精神に則り、ユーザーニーズに耳を傾け、ユーザーの真に役立つ製品の開発・供給に注力し、よりきめ細かいサービスに努めてまいりました。

この結果、当第2四半期の当連結累計期間の売上高は、特殊UVインキの販売が堅調に推移したものの、平版インキの販売が減少したことにより、売上高は236億27百万円（前年同期比16.6%減）となりました。利益面におきましては営業利益は14億86百万円（前年同期比35.6%減）となりました。四半期純利益は、持分法による投資利益2億78百万円、関係会社出資金譲渡益1億27百万円、法人税等5億72百万円を計上したことにより、14億62百万円（前年同期比3.2%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、セグメント別の売上高及び営業利益はセグメント間の内部取引消去前の金額によっております。

#### ① 印刷インキ

売上高は236億23百万円（前年同期比16.6%減）、セグメント利益（営業利益）は14億76百万円（前年同期比35.8%減）となりました。

#### ② その他

売上高は26百万円（前年同期比0.8%減）、セグメント利益（営業利益）は6百万円（前年同期比74.5%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産については、前連結会計年度末に比べて15億33百万円増加し、540億47百万円となりました。これは前連結会計年度末に比べて受取手形及び売掛金が5億18百万円、関係会社出資金が4億44百万円減少したものの、現金及び預金が15億85百万円、有形固定資産が4億61百万円、退職給付に係る資産が3億5百万円増加したことが主な要因であります。

負債については、前連結会計年度末に比べて1億42百万円減少し、161億61百万円となりました。これは前連結会計年度末に比べて長期借入金が11億14百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が4億38百万円、短期借入金が2億98百万円、退職給付に係る負債が5億90百万円が減少したことが主な要因であります。

純資産については、前連結会計年度末に比べて16億75百万円増加し、378億86百万円となりました。これは、前連結会計年度末に比べて為替換算調整勘定が3億円減少したものの、利益剰余金が18億40百万円増加したことが主な要因であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年5月8日に公表いたしました「平成26年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」から変更はありません。

なお、平成27年3月期の個別業績予想につきましては、本日公表しております「業績予想（個別）の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社の連結子会社である東華油墨国際(香港)有限公司は、その子会社であった東華(広州)油墨有限公司の全ての持分を、当社の持分法適用関連会社である杭華油墨化学有限公司に譲渡したため、東華(広州)油墨有限公司は連結子会社から持分法適用関連会社に異動しております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

#### (退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法に変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が8億61百万円減少し、利益剰余金が5億64百万円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,496	7,082
受取手形及び売掛金	16,124	15,606
有価証券	0	100
商品及び製品	3,074	3,062
仕掛品	456	352
原材料及び貯蔵品	1,904	2,030
その他	775	1,114
貸倒引当金	△233	△233
流動資産合計	27,599	29,114
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,029	16,388
機械装置及び運搬具	13,277	13,317
土地	7,237	7,173
その他	4,303	4,649
減価償却累計額	△23,451	△23,670
有形固定資産合計	17,397	17,859
無形固定資産	268	270
投資その他の資産		
投資有価証券	1,833	1,848
関係会社出資金	4,636	4,192
退職給付に係る資産	-	305
その他	830	511
貸倒引当金	△51	△55
投資その他の資産合計	7,249	6,802
固定資産合計	24,915	24,932
資産合計	52,514	54,047

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,024	7,585
電子記録債務	2,326	2,396
短期借入金	1,498	1,199
1年内返済予定の長期借入金	12	191
1年内償還予定の社債	7	7
未払法人税等	449	504
賞与引当金	604	603
その他	1,302	1,182
流動負債合計	14,224	13,671
固定負債		
社債	29	25
退職給付に係る負債	1,020	429
長期借入金	-	1,114
その他の引当金	20	23
資産除去債務	104	105
負ののれん	43	14
その他	861	778
固定負債合計	2,080	2,490
負債合計	16,304	16,161
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,060	2,060
資本剰余金	2,059	2,059
利益剰余金	32,742	34,582
自己株式	△50	△50
株主資本合計	36,811	38,652
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	471	535
為替換算調整勘定	△766	△1,066
退職給付に係る調整累計額	△441	△400
その他の包括利益累計額合計	△736	△932
新株予約権	19	33
少数株主持分	114	132
純資産合計	36,210	37,886
負債純資産合計	52,514	54,047

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	28,323	23,627
売上原価	21,919	18,856
売上総利益	6,403	4,770
販売費及び一般管理費	4,095	3,283
営業利益	2,308	1,486
営業外収益		
受取利息	43	31
受取配当金	38	48
持分法による投資利益	8	278
負ののれん償却額	28	28
為替差益	43	35
投資有価証券売却益	32	-
その他	46	65
営業外収益合計	242	487
営業外費用		
支払利息	16	13
金利スワップ評価損	-	7
その他	31	13
営業外費用合計	48	33
経常利益	2,502	1,940
特別利益		
固定資産売却益	5	23
為替差益	214	-
補助金収入	18	-
関係会社出資金譲渡益	-	127
特別利益合計	238	150
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	91	9
投資有価証券評価損	51	-
為替差損	-	26
関係会社出資金譲渡損	141	-
その他	1	-
特別損失合計	286	36
税金等調整前四半期純利益	2,454	2,054
法人税等	673	572
少数株主損益調整前四半期純利益	1,781	1,482
少数株主利益	363	19
四半期純利益	1,417	1,462



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,781	1,482
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	79	64
為替換算調整勘定	1,613	△76
退職給付に係る調整額	-	40
持分法適用会社に対する持分相当額	14	△226
その他の包括利益合計	1,707	△198
四半期包括利益	3,488	1,284
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,487	1,266
少数株主に係る四半期包括利益	1,001	17

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	印刷インキ		
売上高			
外部顧客への売上高	28,319	3	28,323
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	23	23
計	28,319	27	28,346
セグメント利益	2,300	3	2,304

(注) 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種産業廃棄物の焼却処理及び生命・損害保険代理業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,300
「その他」の区分の利益	3
セグメント間取引消去	4
四半期連結損益計算書の営業利益	2,308

## 3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結会計期間において、「印刷インキ」を構成していた杭華油墨化学有限公司の持分の一部を譲渡したことにより、当第2四半期連結会計期間末日から、同社及びその子会社である安慶市杭華油墨科技有限公司、湖州杭華油墨科技有限公司、広西蒙山梧華林産科技有限公司及び深圳杭華穎博油墨有限公司は連結子会社から持分法適用関連会社に異動したため、前連結会計年度の末日に比べ、「印刷インキ」のセグメント資産が8,425百万円減少しております。

## 4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	印刷インキ		
売上高			
外部顧客への売上高	23,623	3	23,627
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	23	23
計	23,623	26	23,650
セグメント利益	1,476	6	1,483

(注) 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種産業廃棄物の焼却処理及び生命・損害保険代理業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,476
「その他」の区分の利益	6
セグメント間取引消去	3
四半期連結損益計算書の営業利益	1,486

## 3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結会計期間において、「印刷インキ」を構成していた東華油墨国際(香港)有限公司の子会社であった東華(広州)油墨有限公司の全ての持分を、当社の持分法適用関連会社である杭華油墨化学有限公司に譲渡したことにより、東華(広州)油墨有限公司は連結子会社から持分法適用関連会社に異動しております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、「印刷インキ」のセグメント資産が595百万円減少しております。

## 4. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に変更しております。

当該変更による影響は軽微であります。

## 5. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。